

# 28

# 三平方の定理と空間図形 (1)

## テーマ

- ① 立方体や直方体に三平方の定理を応用して、対角線の長さや線分で囲まれた図形の面積などを求める。
- ② 立体、とくに立方体を平面で切ったときの切り口の図形を調べる。
- ③ 立体の表面にそって2点を線で結ぶとき、その最短経路を調べる。

## 学習 1

### 直方体・立方体の対角線の長さ

#### 例題

右の図の直方体で、 $AB=5\text{ cm}$ 、 $AD=4\text{ cm}$ 、 $AE=2\text{ cm}$  のとき、対角線  $AG$  の長さを求めなさい。

#### 解法

空間の中に、 $AG$  を辺にもつ直角三角形を見つけ、三平方の定理を利用する。

$\triangle AEG$  で、 $\angle AEG=90^\circ$  だから、

三平方の定理より、

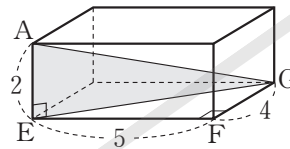
$$AG^2 = AE^2 + EG^2 = 2^2 + EG^2$$

ここで、直角三角形  $EFG$  で、

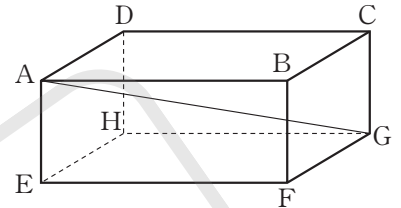
$$EG^2 = EF^2 + FG^2 = 5^2 + 4^2$$

よって、 $AG^2 = 2^2 + 5^2 + 4^2 = 45$

$AG > 0$  より、 $AG = \sqrt{45} = 3\sqrt{5} \text{ (cm)}$



注  $AE \perp$  面  $EFGH$  より、 $AE \perp EG$

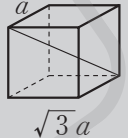
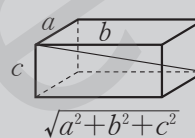


#### POINT

[対角線の長さ]

直方体

立方体



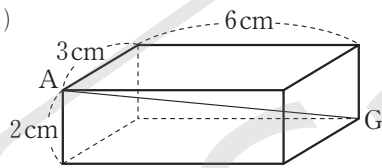
#### 答

$3\sqrt{5} \text{ cm}$

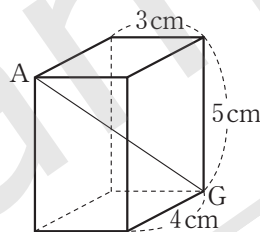
### 確認問題

1 次の図の直方体や立方体で、対角線  $AG$  の長さを求めなさい。

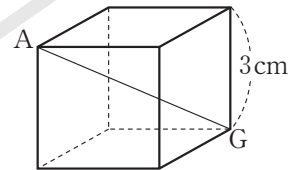
回(1)



回(2)



回(3) 立方体



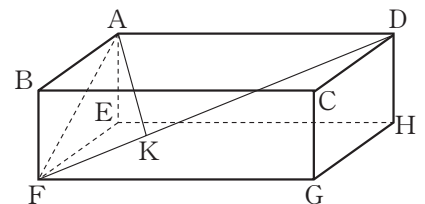
2 対角線の長さが  $3\text{ cm}$  である立方体の体積を求めなさい。

3 右の図は、 $AB=\sqrt{2}$ 、 $AD=3$ 、 $AE=1$  の直方体であり、線分  $AK$  は、 $A$  から対角線  $DF$  にひいた垂線である。次の問いに答えなさい。

回(1)  $\triangle AFD$  の面積を求めよ。

回(2) 対角線  $DF$  の長さを求めよ。

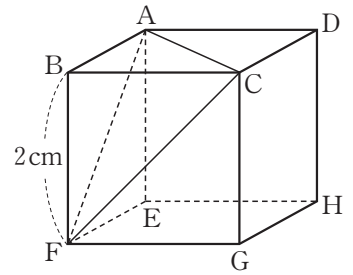
回(3) 線分  $AK$  の長さを求めよ。



## 学習 2 直方体・立方体への利用

**例題** 右の図のように、1辺の長さが2 cmの立方体がある。次の問いに答えなさい。

- (1) 3点A, F, Cを頂点とする $\triangle AFC$ の面積を求めよ。  
 (2) 点Bと面AFCとの距離を求めよ。



**解法** (1)  $\triangle ABC$ は直角二等辺三角形で、 $AC=AB \times \sqrt{2}=2\sqrt{2}$  (cm)  
 AF, FCについても同様だから、 $\triangle AFC$ は1辺 $2\sqrt{2}$  cmの正三角形で、高さは $(\sqrt{2} \times \sqrt{3})$  cmだから、面積は、

$$\triangle AFC = \frac{1}{2} \times 2\sqrt{2} \times (\sqrt{2} \times \sqrt{3}) = 2\sqrt{3} \text{ (cm}^2\text{)}$$

- (2) 三角錐B-AFCの体積は、 $\frac{1}{3} \times \left(\frac{1}{2} \times 2 \times 2\right) \times 2 = \frac{4}{3}$  (cm<sup>3</sup>)

点Bと面AFCとの距離を $h$  cmとすると、三角錐B-AFCの体積について、

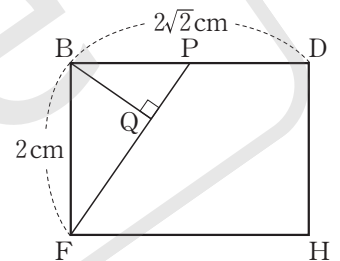
$$\frac{1}{3} \times 2\sqrt{3} \times h = \frac{4}{3} \quad h = \frac{2\sqrt{3}}{3} \text{ cm}$$

**【別解】** 面BFHDとACの交点をPとし、点Bから面AFCにひいた垂線をBQとする。

面BFHDで考えると、右の図のようになる。

$$FP = \sqrt{2^2 + (\sqrt{2})^2} = \sqrt{6} \text{ (cm) より、}$$

$$\triangle BFP \text{ の面積について、} \frac{1}{2} \times \sqrt{6} \times BQ = \frac{1}{2} \times \sqrt{2} \times 2 \quad BQ = \frac{2\sqrt{3}}{3} \text{ cm}$$

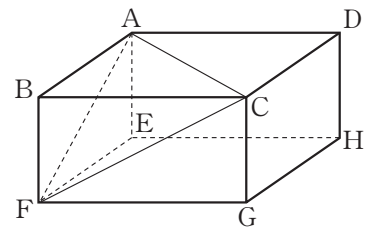


**答** (1)  $2\sqrt{3}$  cm<sup>2</sup> (2)  $\frac{2\sqrt{3}}{3}$  cm

### 確認問題

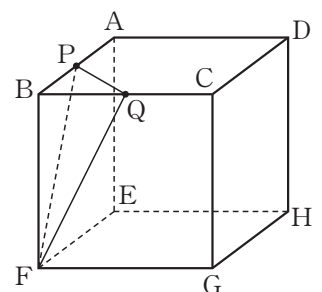
**4** 右の図は、 $AB=AD=2$ ,  $AE=1$ の直方体を表している。次の問いに答えなさい。

- 回(1)  $\triangle AFC$ の3辺の長さをそれぞれ求めよ。  
 回(2)  $\triangle AFC$ の面積を求めよ。  
 回(3) 三角錐B-AFCの体積を求めよ。  
 回(4) 点Bと面AFCとの距離を求めよ。



**5** 右の図のように、1辺の長さが12 cmの立方体があり、辺AB, BCの中点をそれぞれP, Qとする。次の問いに答えなさい。

- 回(1)  $\triangle FPQ$ の面積を求めよ。  
 回(2) 点Bから面PFQにひいた垂線をBRとするとき、BRの長さを求めよ。



**学習 3** // 立方体の切り口\*

**基本 CHECK**

- 切り口の図形…立方体を1つの平面で切ったときの切り口の図形について、
- ① 図形の辺は、立方体の面上にできる。
- ② 立方体の平行な面には、平行な辺ができる。
- ③ 切り口の辺の延長線を利用する。

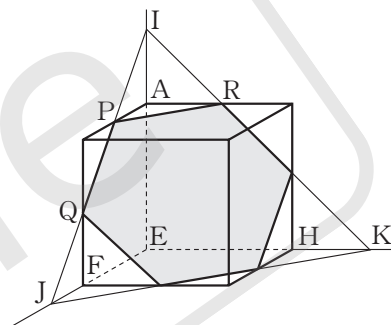
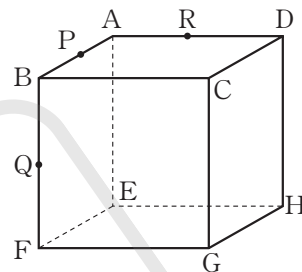
**例題** 右の図は、1辺の長さが2の立方体で、点P, Q, Rはそれぞれ辺AB, BF, ADの中点である。3点P, Q, Rを通る平面でこの立体を切ったとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 切り口はどんな図形か。
- (2) 切り口の図形の周の長さを求めよ。

**解法** (1) 線分PQ, PRは切り口の図形の辺となる。  
 直線PQが直線AE, EFと交わる点をそれぞれI, Jとする。  
 直線PRと直線EHの交点をKとする。  
 こうしてできる3直線IJ, IK, JKが立方体の各辺と交わる点を取り、これらの点を結ぶと、切り口の図形となり、右の影をつけた部分の正六角形となる。

- (2)  $\triangle APR$ で、 $AP=AR=1$ より、 $PR=\sqrt{2}$   
 よって、正六角形の周の長さは、 $6\sqrt{2}$

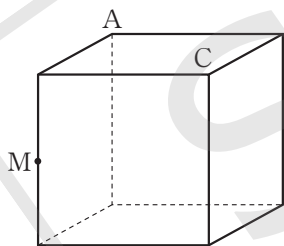
**答** (1) 正六角形 (2)  $6\sqrt{2}$



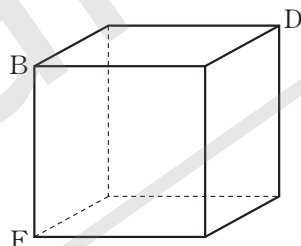
**確認問題**

**6\*** 1辺の長さが4cmの立方体を、次の図のような3点を通る平面で切ったとき、切り口はどんな図形になるか。ただし、点M, Nはそれぞれの辺の中点とする。また、切り口の図形の面積を求めなさい。

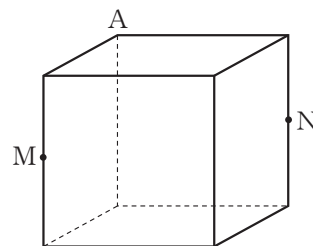
回(1)



回(2)



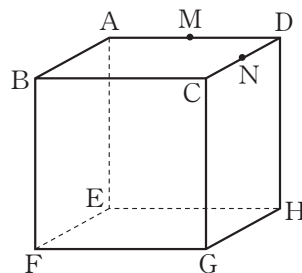
回(3)



**7\*** 右の図は、1辺の長さが4の立方体で、点M, Nはそれぞれ辺AD, CDの中点である。3点E, M, Nを通る平面でこの立方体を切るとき、次の問いに答えなさい。

回(1) 切り口の図形の周の長さを求めよ。

回(2) 切り口の図形の面積を求めよ。



**学習 4 最短経路**

**基本チェック**

●最短経路…立体の表面にそって2点を結ぶときの最短経路は、展開図の上では、2点を結ぶ線分で表される。

**例題** 右の図は、 $AB=4\text{cm}$ ,  $AD=6\text{cm}$ ,  $AE=2\text{cm}$ の直方体である。  
これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 辺BC上に点Pをとるとき、 $AP+PG$ の最小値を求めよ。
- (2) 辺CD上に点Qをとるとき、 $AQ+QG$ の最小値を求めよ。

**解法** 点P, Qがある辺BC, CDを切り離さない展開図(線分が通らない面は除いてもよい)をかき、線分AGをかき入れる。

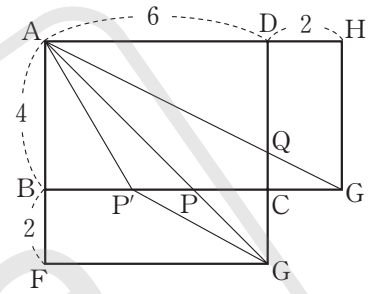
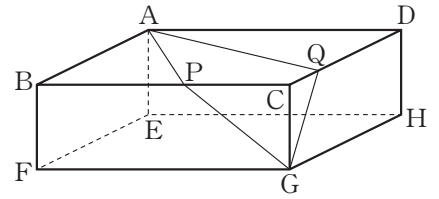
- (1) 線分AGと辺BCの交点をPとすると、 $AP+PG$ は最小となる。(右の図で、 $AG < AP'+P'G$ )

最小値は、 $\triangle AFG$ で、三平方の定理により、

$$AP+PG=AG=\sqrt{(4+2)^2+6^2}=6\sqrt{2}\text{ (cm)}$$

- (2)  $AQ+QG=AG=\sqrt{4^2+(2+6)^2}=4\sqrt{5}\text{ (cm)}$

**答** (1)  $6\sqrt{2}\text{ cm}$  (2)  $4\sqrt{5}\text{ cm}$



**確認問題**

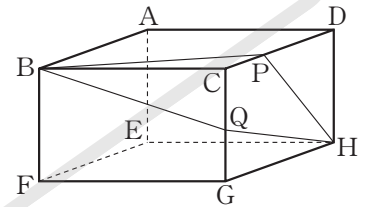
**8** 右の図は、 $AB=4\text{cm}$ ,  $AD=5\text{cm}$ ,  $AE=3\text{cm}$ の直方体である。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 辺CD上に点Pをとるとき、 $BP+PH$ の最小値を求めよ。

また、そのときのCPの長さを求めよ。

- (2) 辺CG上に点Qをとるとき、 $BQ+QH$ の最小値を求めよ。

また、そのときのBQの長さを求めよ。

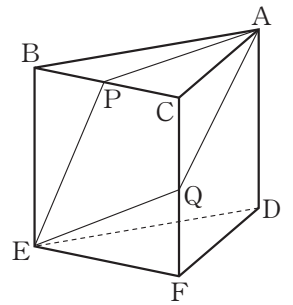


**9** 右の図は、 $BC=4\text{cm}$ ,  $CA=3\text{cm}$ ,  $AD=5\text{cm}$ ,  $\angle BCA=90^\circ$ の三角柱である。

これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 辺BC上に点Pをとるとき、 $AP+PE$ の最小値を求めよ。

- (2) 辺CF上に点Qをとり、 $AQ+QE$ の値が最小になるようにするとき、QFの長さを求めよ。



- 10 右の図は、底面の半径が1cm, 高さが $\pi\text{cm}$ の円柱であり、線分ABは母線を表している。図1のように、円柱の側面にAからBまでひもをかけるとき、ひもの長さの最小値を求めなさい。

また、図2のようにかけるときのひもの長さの最小値は、図1のときの2倍といえるか、答えなさい。

図1

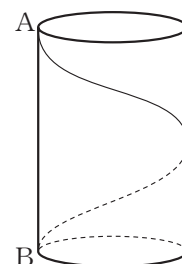
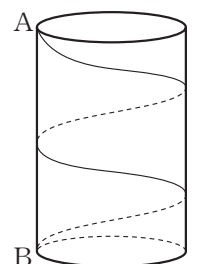


図2

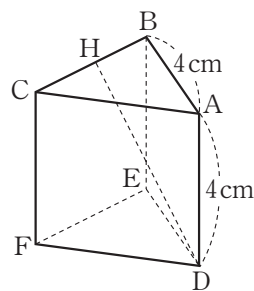


## 演習問題 A

1 〈直方体・立方体の対角線の長さ〉 次の問いに答えなさい。

回(1) 縦5 cm, 横8 cm, 高さ3 cmの直方体の対角線の長さを求めよ。

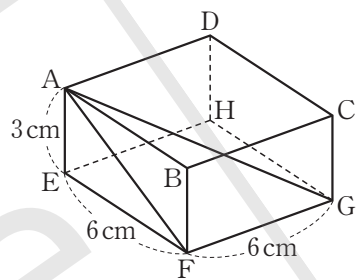
□(2) 右の図は,  $AB=4\text{ cm}$ ,  $AD=4\text{ cm}$  の正三角柱  $ABC-DEF$  で, 点  $H$  は  $BC$  の中点である。線分  $HD$  の長さを求めよ。



2 〈直方体への利用〉 右の図のように, 底面が1辺6 cmの正方形で, 高さが3 cmの直方体がある。このとき, 次の問いに答えなさい。

□(1)  $\triangle AFG$  の面積を求めよ。

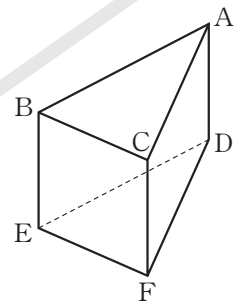
□(2) この直方体の対角線  $AG$  上に,  $FP \perp AG$  となる点  $P$  をとる。線分  $FP$  の長さを求めよ。



3\* 〈三角柱への利用〉 右の図は三角柱  $ABC-DEF$  であり,  $BC=BE=2\text{ cm}$ ,  $AB=4\text{ cm}$ ,  $\angle ABC=90^\circ$  である。次の問いに答えなさい。

回(1) 3点  $B, D, F$  を頂点とする  $\triangle BFD$  の面積を求めよ。

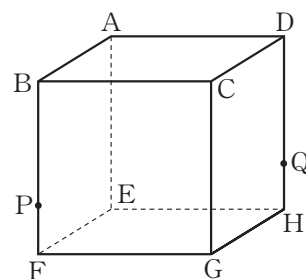
回(2) 3点  $B, D, F$  をふくむ平面と点  $E$  との距離を求めよ。



□4\* 〈立方体の切り口〉 右の図は1辺の長さが6 cmの立方体で, 点  $P, Q$  はそれぞれ辺  $BF, DH$  上にあり,  $BP=DQ=4\text{ cm}$  である。

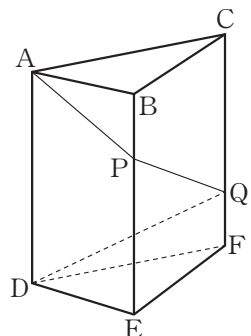
3点  $A, P, Q$  を通る平面で, この立方体を切ったとき, 切り口の図形はどんな図形か。

また, その図形の周の長さを求めなさい。



回5 〈最短経路〉 右の図のような, 底面が直角三角形で,  $AB=3\text{ cm}$ ,  $BC=4\text{ cm}$ ,  $AD=6\text{ cm}$ ,  $\angle ABC=90^\circ$  の三角柱がある。三角柱の辺  $BE, CF$  上にそれぞれ点  $P, Q$  をとり,  $AP+PQ+QD$  が最小になるようにする。

このとき, 線分  $PQ$  の長さを求めなさい。

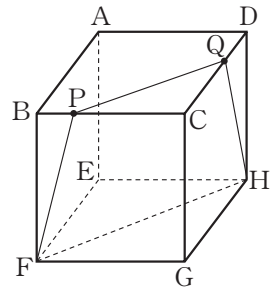


## 演習問題 B

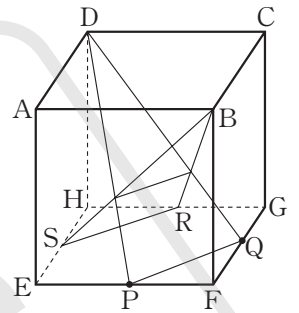
1 右の図のように、1辺の長さが5 cmの立方体ABCD-EFGHがある。2点P, Qはそれぞれ頂点B, Dから同時に出発して、立方体の辺BC, DC上を、毎秒1 cmの速さでCに向かって動くものとする。次の問いに答えなさい。

回(1) 点P, Qが動き始めてから、2秒後の四角形PFHQの面積を求めよ。

回(2) 点P, Qが動き始めてから、3秒後の立体PCQ-FGHの体積を求めよ。



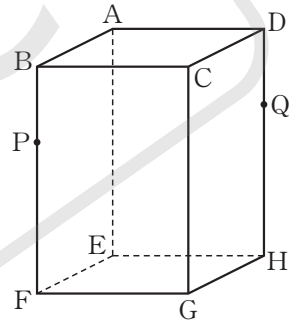
2 右の図のように、1辺の長さが6 cmの立方体において、辺EF, FG, GH, HEの中点をそれぞれP, Q, R, Sとする。このとき、△BRSと△DPQとが交わってできる線分の長さを求めなさい。



3 右の図の直方体ABCD-EFGHにおいて、 $AB=AD=4$  cm,  $AE=6$  cmである。辺BF, DH上に、それぞれ点P, Qを $BP=DQ=2$  cmとなるようにとり、この直方体を3点A, P, Qを通る平面で切って2つに分けるとき、次の問いに答えなさい。

回(1) 切り口としてできる図形の面積を求めよ。

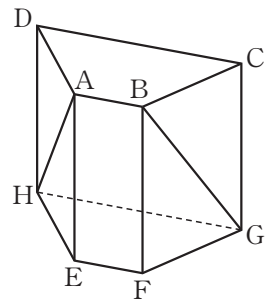
回(2) 頂点Eを含む立体の体積を求めよ。



4 右の図で、立体ABCD-EFGHは底面が台形の四角柱で、 $AB \parallel DC$ である。 $AB=3$  cm,  $AE=7$  cm,  $CB=DA=5$  cm,  $DC=9$  cm のとき、次の問いに答えなさい。

回(1) 台形ABCDの面積を求めよ。

回(2) 立体ABEFGHの体積を求めよ。



5 図1に示した立体ABC-DEFは、 $AB=AD=6$  cm,  $AC=4$  cm,  $\angle BAC=90^\circ$  で側面がすべて長方形の三角柱である。また、辺BE上の点で $BM:ME=2:1$ となる点をM, 辺CFの中点をNとする。次の問いに答えなさい。

回(1) △ACEの面積を求めよ。

回(2) 立体A-BMNCの体積を求めよ。

図1

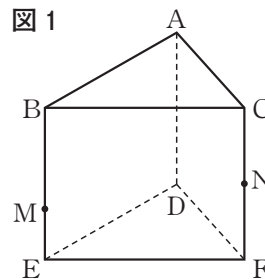
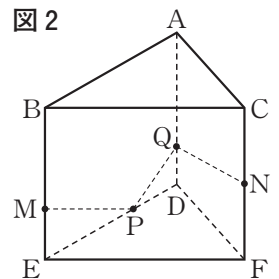


図2



回(3) 図2は、図1において、辺DE上にある点をP, 辺AD上にある点をQとし、点Mと点P, 点Pと点Q, 点Qと点Nをそれぞれ結んだ場合を表している。

$MP+PQ+QN=d$  cm とするとき、 $d$ の最小値を求めよ。